

2024 年 5 月 20 日

20th May, 2024

大学院学生各位 To All Graduate Students

2024 年度 基盤医学特論 開講通知 Information on Special Lecture Tokuron & Tokupro AY2024
特徴あるプログラム CIBoG/AI-MAILs オミクス解析学プログラム
CIBoG/AI-MAILs Omics Analysis

題目：体細胞モザイクと腫瘍の自然史

Title: Somatic mosaicism and evolutionary history of cancer

講師：京都大学白眉センター 特定准教授

垣内 伸之 先生

Teaching Staff: Dr. KAKIUCHI Nobuyuki
(Graduate School of Medicine, Kyoto University)



日時：2024 年 6 月 7 日（金）17:00～18:30（Zoom）

Time and Date: 7rd June, 2024 17:00-18:30 (Zoom Lecture)

使用言語：英語 Language: English

概説：最近、様々な臓器において、がんで観察されるドライバー変異を獲得したクローンが、たとえ正常組織であっても存在し、クローン拡大していることが報告されてきた。これらの変異クローンの存在は将来の発がんリスクの上昇と関連すること、加齢や既知の発がんリスク因子である生活習慣などによって変異クローンの頻度・サイズが増大することなどから、正常組織におけるドライバー変異クローンは発がんの起源と考えられている。しかし、ヒトは 40 兆個の細胞からなる多細胞生物であり、各臓器には膨大な数のドライバー変異クローンが存在するにもかかわらず、その中からがんへと進化するクローンはほんの数個である。この、発がんに至ったクローンの初期の履歴の解析は、これまでなされてきたがんのみの解析では限界があった。がんと周囲の非がん組織を解析する事で正常細胞からがんへと進化する過程で獲得されるドライバー変異の時期やその後のクローン拡大について解析する事が可能となる。発がんの自然史を明らかにした最近の研究成果を紹介する

関係講座: システム生物学, 分子腫瘍学

部門等の連絡担当者: 分子腫瘍学 水野 ひと美 (内線 5190)

Contact: Division of Molecular Oncology・Hitomi Mizuno (ext. 5190)

※Zoomにて開催します。This lecture is held through Zoom.

※事前の申込みは不要です。No Registration Required.

※URLは前週金曜日に学務課よりメールで送信される通知を確認してください。

The URL for class registration of this lecture will be announced by the e-mail “【med-all】
RKR&TPRO Lectures Scheduled Coming Week” sent on Friday of the previous week.

※講義中の録画・録音は禁止します。

Recording this lecture is not allowed.

※出席はTACTを用いて行います。TACTへ入力するキーワードは講義中にお知らせします。

Attendance is checked through TACT. The keyword for TACT will be provided during the lecture.